

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	子ども・福祉部 子ども未来課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	結婚・妊娠・出産応援プログラム		
施策名	【重点】社会全体で結婚、妊娠・出産を応援する気運の醸成		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	合計特殊出生率	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1.49	1.50	1.51	1.52
現況値	1.47 (2019年)	実績値	1.45	1.39		
目標値	1.52	達成率	97.3%	92.7%		
備考		達成度	3	3		

指標名	妊娠と年齢の関係について正しく知っている県民の割合	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	63.2	65.5	67.8	70.0
現況値	58.6% (2019年度)	実績値	54.6	55.6		
目標値	70.0%	達成率	86.4%	84.9%		
備考		達成度	3	3		

3 関連する事業名

- ・社会全体での子育て気運醸成事業
- ・おかやま結婚応援・気運醸成プロジェクト事業
- ・小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

コロナ禍にあっても、結婚を希望しながら出会いに恵まれない独身男女に対し、交流会をはじめとする出会いの機会を提供し、好評であった。また、デジタルマーケティングを活用した戦略的な広報により、「おかやま縁むすびネット」において、新規登録者641人のうちインターネット広告経由で新たに142人が入会した。妊孕性温存療法等の費用の一部への助成を行い、小児・AYA世代のがん患者等の経済的負担を軽減し、将来子供を持つことの希望を繋ぐとともに、がん治療に携わる医療従事者に対する研修会を開催し、患者への適切な情報提供の推進を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

より多くの出会いを提供するため、企業や市町村等とも連携しながら交流会を開催すると同時に、タウン情報誌や新聞、インターネットを活用した広報により、県民及び結婚希望者に対し「おかやま縁むすびネット」等を周知することで、結婚に関する気運の醸成を図る。引き続き、小児・AYA世代のがん患者等に対して助成を行い将来への希望を繋ぐとともに、適切な情報提供が行われるよう、周知を図っていく必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	子ども・福祉部 子ども未来課
重点戦略	Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	結婚・妊娠・出産応援プログラム		
施策名	【重点】若い世代の結婚の希望をかなえる環境の整備		

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	内容	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1.49	1.50	1.51	1.52
現況値	1.47 (2019年)	実績値	1.45	1.39		
目標値	1.52	達成率	97.3%	92.7%		
備考		達成度	3	3		

指標名	内容	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	124	186	248	311
現況値	189組 (2019年度)	実績値	178	255		
目標値	500組	達成率	143.5%	137.1%		
備考	2022年度：444組 (達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	5	5		

3 関連する事業名

- ・おかやま縁むすびネット推進事業
- ・おかやま結婚応援・気運醸成プロジェクト事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

「おかやま縁むすびネット」は、県内3か所のおかやま出会い・結婚サポートセンターを拠点として、結婚支援ボランティアのサポート、自宅閲覧機能の導入等システムの利便性向上を図ったことで、45組の成婚が報告されるなど成果は着実に上がっている。また、デジタルマーケティングを中心とした戦略的な広報を行い、新規登録者641人のうちインターネット広告経由により新たに142人が入会した。

6 今後の施策推進に向けての課題

「おかやま縁むすびネット」は、登録「無料」キャンペーンを目玉とし、引き続き新規登録会員数の増加と、多様な出会いの機会の提供に努める。また、自宅閲覧機能の導入などの利便性向上に加え、性格診断機能の活用や結婚希望者向けのスキルアップセミナーを開催し、マッチング率の向上を図る。これまでも婚活イベントは好評であることから、市町村や企業等とも連携しながら様々なイベントを開催する。また、タウン情報誌や新聞、デジタルマーケティングを活用した広報などを行い、県民及び結婚希望者に対し、「おかやま縁むすびネット」等を周知することで、結婚に関する気運の醸成を図っていく。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	保健医療部 健康推進課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	結婚・妊娠・出産応援プログラム		
施策名	【重点】切れ目ない母子保健等の推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	合計特殊出生率	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1.49	1.50	1.51	1.52
現況値	1.47 (2019年)	実績値	1.45	1.39		
目標値	1.52	達成率	97.3%	92.7%		
備考		達成度	3	3		

指標名	妊娠・出産について満足している母親の割合	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	84.3	84.5	84.8	85.0
現況値	83.9% (2019年度)	実績値	84.0	85.7		
目標値	85.0%	達成率	99.6%	101.4%		
備考		達成度	3	4		

指標名	妊娠と年齢の関係について正しく知っている県民の割合	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	63.2	65.5	67.8	70.0
現況値	58.6% (2019年度)	実績値	54.6	55.6		
目標値	70.0%	達成率	86.4%	84.9%		
備考		達成度	3	3		

3 関連する事業名

- ・ 未来のパパ&ママを育てる出前講座等事業
- ・ おかやま妊娠・出産サポートセンター事業
- ・ 風しん抗体検査助成事業

4 施策達成レベル

3.3	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>中高校生へ、妊娠や出産の正しい知識の普及啓発を実施し、若い世代が妊娠や出産を視野に入れたライフプラン構築の機会を提供することができた。おかやま妊娠・出産サポートセンターでは、妊娠・出産に限らず、新型コロナウイルス感染症や新型コロナウイルスワクチンに関する事など、妊産婦の不安に寄り添った相談対応ができた。 先天性風疹症候群予防のための風しん抗体検査事業において、882名の受検があった。</p>

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>切れ目のない母子支援の更なる推進に向け、産後ケア事業や伴走型相談支援事業等の母子保健事業の取組を強化するため、引き続き市町村支援を行う必要がある。また、心に不安を抱える妊産婦が円滑に適切な治療や支援が受けられるよう産科、精神科、小児科及び市町村の連携強化を図る必要がある。 若い世代へ妊娠・出産に関する正しい知識の普及とともに、教員への研修を継続的に行う必要がある。 加えて、先天性風疹症候群に関する正しい知識や風しん抗体検査事業について積極的な周知を継続する必要がある。</p>

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名

担当部課室 子ども・福祉部 子ども未来課

重点戦略	III 安心して豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	結婚・妊娠・出産応援プログラム
施策名	【推進】若者のライフデザイン構築支援

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	若者向けライフデザイン講座の受講者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	160	500	840	1,180
現況値	476人(2019~2020年度の累計)	実績値	58	434		
目標値	1,656人	達成率	36.3%	86.8%		
備考	2022年度:910人(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	1	3		

3 関連する事業名

- ・おかやま縁むすびネット推進事業
- ・結婚・子育てライフデザイン講座事業

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

令和4年度から新たに中学・高校生等を対象とした「結婚・子育てライフデザイン講座」を実施し、中学生39人、高校生181人、大学生87人、企業の従業員69人が受講し、就労、結婚、子育て等について、理解を深めながら、ポジティブな意識醸成を図り自らが希望する人生設計について考える契機とした。

6 今後の施策推進に向けての課題

令和4年度は、中学生から企業の若手までを対象に実施したが、中学生にとっては自身の結婚、子育ては遠い将来でイメージしづらく効果は薄いため、今後は、高校生以上を対象に実施する。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	県民生活部 人権・男女共同参画課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	結婚・妊娠・出産応援プログラム		
施策名	【推進】仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）等の意識の醸成		

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	人権・男女共同参画課・ウィズセンターで実施する事業の参加者数における男性比率	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	22.0	24.0	26.0	28.0
現況値	18.6% (2019年度)	実績値	24.2	26.0		
目標値	28.0%	達成率	110%	108.3%		
備考		達成度	4	4		

3 関連する事業名

- ・おかやま☆女性活躍☆生き活きパッケージ事業
- ・男女共同参画ゼミナール事業
- ・ウィズカレッジ事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>・男性の家事や育児など家庭生活への参画を促進するためのセミナーを開催し意識改革や具体的行動につなげる支援を行うとともに、企業の求めに応じて中小企業診断士等の専門家を派遣し、企業の実情を踏まえたアドバイスを行うなどにより、家庭や企業における男女共同参画への意識の醸成を促し、ワークライフバランスの実現に向けた取組を推進した。</p> <p>・結婚や出産などのライフイベントの影響を受けやすい女性の就業を支援するための就労支援講座を開催した。</p>

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>・女性への働きかけではなく、男性や企業への働きかけも同時に実施していく必要がある。</p>

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	産業労働部 労働雇用政策課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	結婚・妊娠・出産応援プログラム		
施策名	【推進】安心して結婚、妊娠・出産、子育てができる「しごと」応援		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	内容	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	30	60	90	120
現況値	30件/年(2018~2020年度の平均)	実績値	23	52		
目標値	120件(4年間累計)	達成率	76.7%	86.7%		
備考	目標値は2021~2024年度の累計	達成度	2	3		

指標名	内容	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	34.5	34.0	33.5	33.0
現況値	34.9%(2019年度)	実績値	33.4	36.1		
目標値	33.0%	達成率	※103.3%	※94.2%		
備考		達成度	4	3		

3 関連する事業名

- ・ふるさと岡山就職支援事業
- ・晴れの国おかやま！J.U.ターン就職応援事業

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

・若者の再就職、再入社及び入社辞退者の再エントリーを応援することを宣言する企業等を「おかやま若者再チャレンジ応援宣言企業」として登録し、ホームページ等でPRした。 ・県内経済団体や県内企業約6,000社に対し、正規雇用の促進や長期定着を見据えた人材育成など、若年者の雇用等に関する働きかけを行った。

6 今後の施策推進に向けての課題

・引き続き、おかやま若者再チャレンジ応援宣言企業の増加に取り組むとともに、若者等へのPRを行う。 ・雇用情勢等を踏まえながら、県内経済団体等に対し、正規雇用の促進・継続や入社後の人材育成など、若年者の雇用に関する働きかけを続けていく必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	子ども・福祉部 子ども未来課
重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	結婚・妊娠・出産応援プログラム		
施策名	【推進】多子世帯への支援		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	第3子以降の出生率	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	19.1	19.4	19.7	20.0
現況値	18.9% (2019年)	実績値	20.5	19.3		
目標値	20.0%	達成率	107.3%	99.5%		
備考		達成度	4	3		

3 関連する事業名

- ・第3子以降保育料無償化事業

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

3人以上の子どもを持ちたいと希望する世帯を応援するため、第3子以降の0～2歳児の保育料を無償化又は軽減する市町村に補助金を交付し、多子世帯の保護者の経済的負担を軽減した。 (補助対象児童数：2,986人 補助額345,730千円)

6 今後の施策推進に向けての課題

今後も市町村と連携して、幼児教育・保育の無償化と併せて制度の周知を図り、少子化対策につなげる必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	県民生活部 人権・男女共同参画課
重点戦略	Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造		
戦略プログラム	結婚・妊娠・出産応援プログラム		
施策名	【推進】 出産・子育て後の女性の再就職等の支援		

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	ウィズセンターで実施する再就職支援のための講座の参加者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	100	200	300	400
現況値	145人(2019年度)	実績値	158	303		
目標値	400人(4年間累計)	達成率	158%	151.5%		
備考	目標値は2021~2024年度の累計	達成度	5	5		

3 関連する事業名

- ・ウィズカレッジ事業(再就職支援の講座)
- ・女性就職応援事業
- ・再就職促進訓練事業

4 施策達成レベル

5.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<ul style="list-style-type: none"> ・結婚や出産などのライフイベントの影響を受けやすい女性の就業を支援するための講座を開催し、職探しのヒントなど就職活動に役立つ情報提供等を行った。 ・企業の課題解決に向けて専門家の派遣や女性活躍を推進する人材を育成するなど、受け入れ側である企業の取組支援を行った。 ・講座をオンライン配信で行ったところ、受講者が大幅に増えた。

6 今後の施策推進に向けての課題

<ul style="list-style-type: none"> ・出産、子育て等で離職した女性が、それぞれの能力や希望等に応じて働き続けることができる職場環境の整備を進めていく必要がある。 ・講座の希望者が参加しやすい環境整備(オンライン配信等)の充実を図っていく必要がある。
